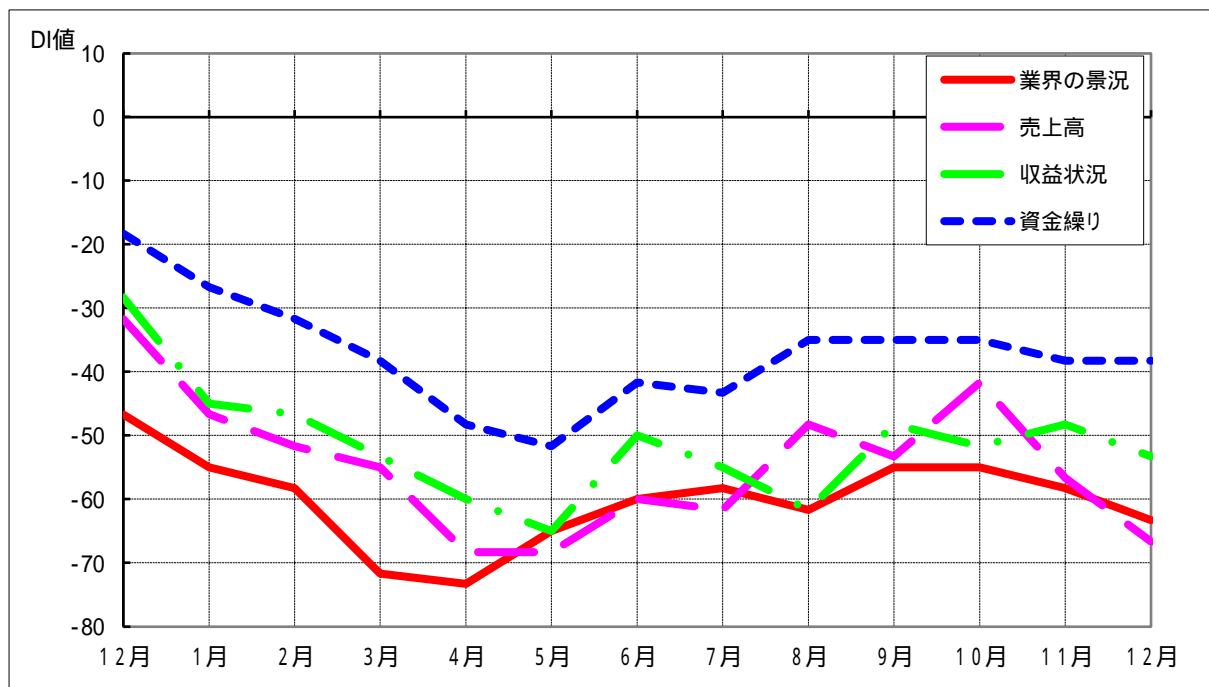


## 業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和元年12月～令和2年12月

単位:ポイント



R1 R2

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
業界の景況	-46.7	-55.0	-58.3	-71.7	-73.3	-65.0	-60.0	-58.3	-61.7	-55.0	-55.0	-58.3	-63.3
売上高	-31.7	-46.7	-51.7	-55.0	-68.3	-68.3	-60.0	-61.7	-48.3	-53.3	-41.7	-56.7	-66.7
収益状況	-28.3	-45.0	-46.7	-53.3	-60.0	-65.0	-50.0	-55.0	-61.7	-48.3	-51.7	-48.3	-53.3
資金繰り	-18.3	-26.7	-31.7	-38.3	-48.3	-51.7	-41.7	-43.3	-35.0	-35.0	-35.0	-38.3	-38.3

12月のDI値は前月と比べ、1項目不変、3項目悪化となった。「資金繰り」DI値は不変、「売上高」DI値は10.0ポイント、「収益状況」DI値は5.0ポイント、「業界の景況」DI値は5.0ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比でみると、2ヶ月連続で全項目悪化しており、「売上高」DI値は35.0ポイント、「収益状況」DI値は25.0ポイント、「資金繰り」DI値は20.0ポイント、「業界の景況」DI値は16.6ポイントそれぞれ悪化となった。

連絡員からは、新型コロナウイルス感染症の第3波による影響が多く寄せられている。GoTo関連事業の一時停止により全体の需要が減少し、回復の兆しが見られるものもあったが、依然として厳しい状況に置かれている。その中でも季節商品の動きはみられ、特におせちなどの巣ごもり需要関連が好調であったとの報告がある。

組合の特記事項としては、製造業・非製造業を問わず、新型コロナウイルス感染拡大の第3波到来により、一層の不安を訴えている。製造業においては持ち直す傾向もあるが、取引先の違いにより格差が生じており、前年度比の売上高を確保できない状況が続いている。非製造業においては、商店街・飲食店等では外出自粛により例年とはまったく異なった厳しい年末となった。

要望事項として、感染拡大防止のためオンラインを活用した勉強会や講習会の情報提供、事業所内で感染が確認された場合でも、事業継続が可能となるよう相談窓口等の設置などが寄せられている。